

令和5年度第2回伊勢崎市国民健康保険運営協議会 意見・質問票とりまとめ

■第3期データヘルス計画（案）について

御意見・御質問あり 4人から8件

【御意見等①】

ご提案のとおり、政府指針に的確に対応した計画策定、実施を期待します。

事務局回答

御期待に添えるよう努力してまいります。

【御意見等②】

市民一人ひとりがいかに健康に対して意識をしてもらえる事が高い受診率に繋がるし病気の早期発見にもなります。そして医療費も抑えられることをデータヘルス計画報告において分かりました。

超高齢化時代に備えて医療費の負担は大きく、このデータヘルス計画が活用されて成果になればと考えます。

事務局回答

御期待に添えるよう努力してまいります。

【御意見等③】

データヘルス計画とは国の事業と知りましたが、市民にとってメリットはあるのでしょうか。

又、個人情報漏れはないのでしょうか。

事務局回答

国は指針を示したに過ぎず、事業の実施主体は市町村国保となります。

市民の皆様にとってのメリットは、保健事業を計画的に行うことで健康の保持増進、生活の質（QOL）の維持及び向上が図れることです。

個人情報については、概要版（P22）に記載しているとおり、「個人情報保護法」に基づき適正に管理いたします。外部委託事業者への業務委託においても、適切な取り扱いが確保されるよう措置を講じます。

【御意見等④】

概要版 12 ページ、⑬の特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率について

- (1) 目標値が増加したとは、どの程度増加したのか。
- (2) 対象者にはどのような健康指導が行われているのか。

事務局回答

特定保健指導対象者の減少率とは、前年度の特定保健指導利用者のうち、数値が改善し当該年度に指導の対象ではなくなった人がどれだけいるのかということを表しています。目標値に「増加」とあるのは、前年度は指導対象だったが、当該年度は対象でなくなる人を、より増やしていくということになります。

保健指導の内容につきましては、概要版（P.26）に記載しているとおり、生活習慣改善のための具体的な実践指導を行い、行動計画を立てて、それに基づき自ら継続的に実践できるよう支援しています。伊勢崎市は保健センターでの直営と医療機関による委託で実施しています。

【御意見等⑤】

データヘルス計画（案）、90 ページ、メタボ該当者について

伊勢崎市の男性メタボ該当者数が国、県に比べて高いが、その要因の分析はされているのか。

事務局回答

詳細版（P56）に記載している年代別質問票の回答を見ると、男性においては、週3回以上就寝前夕食がいずれの年代でも標準化比が高く、加えて40-64歳で1回30分以上の運動習慣なしが6割と多くなっており、食習慣の改善、運動習慣の改善が必要と思われる人の割合が多いと推測されます。現在の状況を改善していくためにも特定保健指導等による該当者への直接的な働きかけと、広報などを用いて生活習慣に関する市民全体に向けての意識づけを行っていく必要があると考察しています。

【御意見等⑥】

データヘルス計画（案）、63ページ、大腸がん検診について

大腸がんの早期発見への障害が、検診結果が要精密（内視鏡検査）検診となっても内視鏡検査を受けないことにあると聞いたことがあるが、伊勢崎市の場合、精密検診の受診率の統計は取られているのか。

事務局回答

がん検診については健康管理センターの業務となります。大腸がん検診の精密検査については現在、①全大腸の内視鏡検査と②S状結腸の内視鏡検査とX線検査との組み合わせの2種で行っており、内訳は把握しておりませんが、1次検診の形態（集団・個別）、性別、年齢別（5歳刻み）に分け集計しています。

参考に令和3年度大腸がん検診受診者の精密検査受診率は、個別検診受診者が80.4%、集団検診受診者が76.6%となっています。また、精密検査未受診者対策として、集団検診ではチラシの配布や問診時の指導のほかに未受診者には電話連絡し勧奨を行っています。

【御意見等⑦】

今後の「健康の保持増進」「医療費の抑制」の観点から

1. 新型コロナワクチンによる健康被害の治療について、伊勢崎市として医療機関の確保、市民への周知は、どのように考えているのか？

実際、新型コロナワクチン接種後から体調不良になった患者さんが、医療機関のたらい回しや、逆にドクターショッピングのような状態になっていることもあるので、上記の質問をさせていただきました。

事務局回答

新型コロナワクチンによる健康被害については、伊勢崎市ではホームページ及び接種券送付の際にお知らせの中で周知しているほか、健康づくり課に相談窓口を設置しています。データヘルス計画においては、保健事業により予防可能な疾病という観点から生活習慣病に関する事業に取り組んでいくこととしており、新型コロナウイルス、及びワクチンによる健康被害に関することはデータヘルス計画には入れておりません。

【御意見等⑧】

2. 新型コロナウイルス感染症後遺症や、新型コロナワクチンによる健康被害を受けた方に対して、栄養や生活改善なども重要であると言われていたが、今後「健康教室」の内容に組み込んでいく予定はあるのか。

新型コロナワクチン接種を国民の多くが繰り返し接種した状況の中で、当初から懸念されていた新型コロナワクチンのリスクが顕在化してきています。新型コロナワクチンの副作用は全身の多岐にわたり、病態の解明も道半ばであることから、治療に関しても試行錯誤の状態が続いているようです。そのような中で、市民の「健康の保持増進」「医療費の抑制」の観点から、上記のことは重要であると思います。

事務局回答

健康教室につきましては、今後の実施についてまだ決定しておりませんが、実施する場合の内容としましては、主に生活習慣病等に関するポピュレーションアプローチの観点から一般向けの内容を想定しており、新型コロナウイルス感染症後遺症等に関するものは予定しておりません。